

【第3号議案】令和3年度事業計画について

令和3年度事業計画

1 総会・専門部会の開催

(1) 総会（7月）

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催する。

開催日 令和3年7月15日（木）17時より

場 所 レンブラントホテル大分及びオンライン

(2) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けて看護関連機器開発を促進するため、看護関連機器開発部会を開催するとともに、関連事業を実施する。

(3) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向けて、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発を促進するため、介護・福祉関連機器開発部会を開催するとともに、関連事業を実施する。

2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業参入促進セミナー（7月、12月、2月）

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）や大分大学等と連携し、医療産業参入促進セミナーを開催する。

(2) 東九州メディカルバレー構想推進大会（1月）

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、大分大学及び東九州メディカルバレー構想推進会議と共催で推進大会を開催する。

開催日 令和4年1月27日（木）午後

場 所 レンブラントホテル大分

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会

会員企業の新規の機器開発案件を探すため、大分大学や医療・看護・介護・福祉の関係団体等と連携してニーズ探索会を実施する。

また、ニーズ提供のあった施設と連携し、施設見学会を実施する。

〔ニーズ探索会〕

大分大学ニーズ探索交流会（第一回 7月8日開催、第二回 調整中）

協議会医療・看護・介護・福祉ニーズ発表会（調整中）

〔施設見学会〕

2施設程度

(2) 医療関連機器開発ビジネスマッチング会（8月3～5日開催）

医療機器メーカーへの部品供給やOEM受注に向けて、県内ものづくり企業とのマッチング会を開催する。また、コーディネーターによるマッチング後のフォローアップも実施する。

(3) 医療関連機器等事業化支援プラットフォーム

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発等を行うワーキンググループの活動を支援するとともに、試作品開発に要する経費に対し助成を行う。

ワーキンググループ活動にあたっては、活動の当初に市場調査を実施するとともに、試作品開発において、試作・ユーザー評価を並行するデザインシンキングを重視する。

対象者：会員企業が事業主体となるワーキンググループ

支援数：5グループ程度

支援内容：ワーキンググループの運営、試作品開発の補助

4 研究開発補助事業

(1) 医工連携医療関連機器等事業化補助事業

医療・介護・福祉・看護の4分野において、会員企業が新たな医療関連機器やソフトウェア等の事業化に要する経費に対し助成を行う。

対象者：大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員中小企業

対象経費：プラント・機械装置費、原材料費、外注加工・分析費、委託費、共同研究費、人件費、旅費、謝金・報償費、手数料、事務庁費

補助率：補助対象経費の2/3以内

補助金額、採択件数：400万円以内 3件程度

募集時期：令和3年4月1日～5月7日

(2) 新型コロナウイルス感染症対応医工連携医療関連機器等研究開発推進事業

新型コロナウイルス感染症対策、「新たな日常」への対応を支援するための医療関連機器やソフトウェア等の研究開発に要する経費に対し助成を行う（令和2年度に交付決定済み）。

5 販路開拓・拡大事業

(1) おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

会員企業が開発・製造する医療関連機器の医療・福祉現場への導入を促進するため、県内医療・福祉機関が新たに機器を導入する経費等に対し助成を行う。

対象者：県内の医療・福祉機関等

対象経費：機器導入費（レンタル・リース含む）

補助率：補助対象経費の1/2以内

補助金額：50万円以内

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

※おおいた産医療関連機器として事前に登録された機器が対象

(2) 展示・商談会等

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業が開発した医療関連機器を県内外にPRするため、医療系展示会に協議会ブースを設け、会員企業の共同出展を支援する。

○県外で開催される代表的な展示会を検討

○大分県病院学会

○本郷地区展示会

など

(3) 販路開拓支援事業

会員企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行う。

対象者：会員中小企業

対象経費：会場借上費、展示品運搬費、印刷製本費等

補助率：補助対象経費の1/2以内

補助金額：学会併設展示会20万円以内

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

(4) おおいた産感染症対策機器・医療関連機器等情報発信事業

東九州メディカルバレー構想の取組による社会貢献を実現するため、会員企業が開発した新型コロナウイルス感染症対策機器、医療関連機器について、開発機器の販路開拓や改良に向けて、医療従事者と会員企業との連携交流のための展示・交流スペース「メディバレーおおいた」を設置・運営する。

(5) おおいた産製品海外展開支援事業

東九州メディカルバレー構想で掲げるアジアへの貢献、会員企業が開発した機器等の販路開拓のため、タイを中心に ASEAN 諸国への販路開拓へ向けた支援プラットフォームを設置する。

支援プラットフォームでは、現地での情報収集、病院・施設等のニーズ調査、おおいた産製品のPRを実施する。

また、HALFIT® ツーリズムを海外の医療関係者に周知を図るため、関係機関に事業PRを行う。

ASEAN 諸国の新型コロナウイルス感染症対策の状況を踏まえ、現地での対応力を強化するため、引き続き現地スタッフ雇用による活動を実施する。

6 コーディネーターの配置

(1) コーディネーター配置

県内医療・福祉機関によるおおいた産医療関連機器の導入を後押しするため、コーディネーター（1名）を雇用する。

7 医療関連機器開発イノベーションプログラム

(1) 機器開発研修会

会員企業の人材の育成・交流を目的に、現場ニーズの理解促進、医療・福祉・介護従事者、医療機器ディーラー等とのコミュニケーションの活性化を図るため、大分大学や太陽の家等と連携して、医療現場での診断や治療、福祉や介護現場でのリハビリテーション等を学ぶ研修会を開催する。

(2) 機器開発ワークショップ、機器開発ブラッシュアップ

現場の課題発掘・解決等を学ぶワークショップを2回に分けて開催する。（1）の機器開発研修会と併せて受講することで、一つのテーマについて、知識の取得から機器開発までを体感し、ワークショップを通じたアイデア出しや意見交換を行う場を提供する。

また、機器開発から販路開拓までの各分野の専門家をアドバイザーとして委嘱し、医療関連機器産業への参入に向けたハンズオン支援を行う。

その他

○大分大学医学部臨床医工学センターや医療ロボットダイバーシティ・HAL 研究会、一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構等関係団体との連携した取組を推進する。

○東九州メディカルバレー構想の下、宮崎県や福岡県等との近隣自治体との連携した取組を推進する。

【第4号報告】令和3年度当初予算について

令和3年度当初予算

事業期間 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

1 収入の部 (単位:円)

科目	当初予算額 ①	前年度当初予算額 ②	増減 ①-②	備考
1 負担金収入	87,681,000	42,155,000	45,526,000	大分県負担金 当初分54,936,000円 繰越分32,745,000円
2 雑収入	0	0	0	
当期収入合計	87,681,000	42,155,000	45,526,000	
前期繰越金	6,721,336	12,562,495	▲ 5,841,159	
収入総合計(A)	94,402,336	54,717,495	39,684,841	

2 支出の部 (単位:円)

科目	当初予算額 ①	前年度当初予算額 ②	増減 ①-②	備考
1 協議会運営	645,000	400,000	245,000	
旅費	0	10,000	▲ 10,000	
食糧費	3,000	50,000	▲ 47,000	他団体イベント交流会費等
その他需用費	60,000	80,000	▲ 20,000	消耗品代
役務費	68,800	190,000	▲ 121,200	通信運搬費、手数料
使用料及び賃借料	43,200	20,000	23,200	
負担金	470,000	50,000	420,000	関係学会等負担金
2 医療関連産業参入促進セミナー等	1,763,740	2,142,000	▲ 378,260	
報償費	300,000	300,000	0	セミナー講師謝礼
旅費	192,000	192,000	0	セミナー講師旅費
委託料	0	300,000	▲ 300,000	
食糧費	102,500	200,000	▲ 97,500	セミナー交流会費等
その他需用費	0	150,000	▲ 150,000	
役務費	0	50,000	▲ 50,000	
使用料及び賃借料	669,240	450,000	219,240	セミナー会場借上代
負担金	500,000	500,000	0	HAMIQ会費
3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	8,009,000	9,500,000	▲ 1,491,000	
報償費	45,000	0	45,000	
旅費	0	400,000	▲ 400,000	
委託料	7,964,000	8,600,000	▲ 636,000	医療関連機器開発ビジネスマッチング会開催業務委託、ニーズ発表会運営業務委託、事業化支援プラットフォーム運営業務委託 ※試作品開発補助含む
その他需用費	0	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	
食糧費	0	0	0	
役務費	0	0	0	
補助金	0	0	0	
負担金	0	500,000	▲ 500,000	
4 研究開発等補助事業	31,633,836	21,032,000	10,601,836	
報償費	24,900	26,000	▲ 1,100	審査委員謝礼
旅費	3,600	3,000	600	審査委員旅費
食糧費	0	1,000	▲ 1,000	
役務費	0	2,000	▲ 2,000	
補助金	31,605,336	21,000,000	10,605,336	実用化補助(※令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応医工連携医療関連機器等研究開発推進事業の繰越含む)
5 販路開拓・拡大事業	40,650,760	17,380,000	23,270,760	
委託料	27,330,000	6,600,000	20,730,000	海外展開プラットフォーム設置委託等(※令和2年度のおおいた産感染症対策機器・医療関連機器等情報発信事業、おおいた産製品海外展開支援事業の繰越を含む)
報償費	0			
その他需用費	620,000	500,000	120,000	パンフレット等作成費、展示・交流スペース消耗品等
使用料及び賃借料	5,662,000	950,000	4,712,000	共同出展ブース借上料、展示・交流スペース賃料、病院学会負担金
旅費	816,000	820,000	▲ 4,000	共同出展旅費
食糧費	77,000	300,000	▲ 223,000	共同出展ランチョンセミナー代
役務費	545,760	110,000	435,760	共同出展郵送料、展示交流スペース火災保険料・通信料
補助金	5,600,000	5,600,000	0	普及促進・評価補助、展示会出展補助
負担金	0	2,500,000	▲ 2,500,000	
6 コーディネータ配置事業	4,000,000	3,709,495	290,505	
給料	2,880,000	2,600,000	280,000	コーディネータ給与
職員手当等	235,200	62,000	173,200	コーディネータ通勤手当
共済費	463,000	447,000	16,000	コーディネータ社会保険料等
旅費	25,200	60,000	▲ 34,800	コーディネータ旅費
使用料及び賃借料	396,600	540,495	▲ 143,895	レンタカー代
7 オープンイノベーションプログラム	7,700,000	0	7,700,000	
委託料	7,700,000	0	7,700,000	研修講座・ワークショップ等委託費
※ 専門家派遣事業	0	554,000	▲ 554,000	
報償費	0	300,000	▲ 300,000	
旅費	0	254,000	▲ 254,000	
当期支出合計(B)	94,402,336	54,717,495	39,684,841	
当期支出差額(A)-(B)	0	0	0	